



平成22年10月28日

各位

上場会社名 スタンレー電気株式会社
 代表者 代表取締役社長 北野 隆典
 (コード番号 6923)
 問合せ先責任者 執行役員・経理部門長 飯野 勝利
 (TEL 03-3710-2222)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	260,000	32,500	34,300	20,000	114.91
今回発表予想(B)	260,000	34,500	37,000	20,000	115.64
増減額(B-A)	—	2,000	2,700	—	
増減率(%)	—	6.2	7.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	238,888	24,336	26,045	17,128	98.25

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	160,000	17,000	11,500	66.07
今回発表予想(B)	160,000	19,500	11,500	66.49
増減額(B-A)	—	2,500	—	
増減率(%)	—	14.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	145,737	12,346	11,853	67.99

修正の理由

足元の経営環境は、各国の景気刺激等の効果により、当社が関連する自動車市場及びエレクトロニクス市場は生産回復傾向を持続しております。しかしながら、今後の当社を取り巻く環境は、各国の景気刺激策の終了による市場への影響懸念、足元の雇用・所得環境の改善は足踏み状態となっている等、先行きに不透明感が残っております。

このような環境の下、当社では「生産革新活動」による生産性向上、グループをあげた徹底的な原価低減等がグローバルで着実に成果をあげており、第2四半期連結累計期間が当初の予定を上回り、引き続き「生産革新活動」による生産性向上やグループをあげた原価低減等の効果が期待できることから平成22年4月28日公表の平成23年3月期通期の業績予想を修正いたします。

なお、下期見通しにおける為替前提を昨今の為替の円高傾向に鑑み、1米ドル＝80円に変更しております。

(注)当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

以上